

2008 Winter VOL.56



アイセレモニー株式会社

本社/営業本部・智の会・相談室・花環工房
飯綱町黒川2415(飯綱ホールとなり)
☎026-253-1377 FAX253-1378

フリーダイヤル ☎0120-796-311

- アイセレモニー飯綱ホール(飯綱町大字黒川)
- アイセレモニー五岳ホール(信濃町古間)

アイの四季だより 発行・責任者/丸山哲一

2月の今ごろになると——ノウサギ ▶
ウサギの足跡が野山の雪の上に見つかる。
イソップ「兎と亀」ウサギとカメの競争物語で、ウサギは生れつき速いのを
自負して途中で眠り負けてしまう。他には古事記の日本神話「因幡(いなば)の白兎」など。

店内のテーブル席は、明るい南面
いつぱいのガラス窓で開放的。
R18に沿って、車の往来も見
えて安心。そのほらかなたには、
菅平の美しく広がる山なみが眺望で
きて……こんなゼイタクいいの
かな。

メニューアイテムは、なんとノ
百を超えるというから、オドロキ。お
客さまの対象が広い証拠です。(で
も、厨房はたいへんダヨ)

さらに、サービスピリットも旺盛で、
気軽に楽しめるランチタイムメニ
ューに始まって、二月いっぱい、ピ
ーフシチューフェア。ディナーはコ
ース料理で、メインディッシュは厚
切り(一七〇g)のポークソテー
と、豪華けんらん。

したがって、昼夜を問わずいつ
もおいしいものが楽しめて、誰と
も気軽に來れて、そしてそして、料



営業時間/朝9時~夜10時
休日/不定期
電話 026-253-3102
フリーダイヤル0120-600915

おいしいもの
おいしいもの
おいしいもの

自然とやすらぎのレストラン
Look
ルック



R18沿い 飯綱町古町(旧児玉坂)
広々駐車場完備

おすすめ!

ook

今回は焼きカレーを帰りに食べることを前提にグレンデ
を選びました。それくらい美味しい。【お客様の声】

金ガリースナブル。だから繁盛して
いる訳です。

おトクなランチタイムAM11:00
メニューは多彩に6アイテム(日替除く)

こだわりの一品! 焼きカレー
ピラフとカレー、チーズの味がまるやか……
もち入り焼きカレー980円 も、おすすめ!

チョコレートパフェ 530円
オシヤレで
このホリウームノ

昭和四七年、第一次田中角栄内閣
成立。この年、レストラン・ルック
のオーナー三ツ井さん法人設立する
翌年の昭和四八年にこの地に開店。
この年は、読売巨人軍がプロ野球史
上初の輝かしい9連覇達成の年。
開店以来、今年平成二〇年で三十
五周年を迎えるとのこと。昭和と言
うと昔の事のように思われちゃって
そのはずだよ。平成に生まれた人
はずで二〇歳の成人。

地の理、時代の波、天の時と言わ
れ、レストラン・ルックがさらに人
気を集めているワケは、この三つの
格言にピッタリと沿っているからで
す。これは、オーナー三ツ井さんの
「先見の明」とお人柄の成せる術。

昨年十二月、R18沿い飯綱町黒川
のアイセレモニー飯綱ホールに隣接
して、本社を新築し移転いたしまし
た。

第一スーパー飯綱店大駐車場前の
弊社営業本部・相談室もこれに合
せて本社へ移転いたしました。

長野市吉田を拠点に活動してあり
ました「アイセレモニー花環工房」
も本社へ移転し、さらに活動強化を
図っております。

すべての業務が新築いたしました
本社へ総括されましたので、これま
でのご不便をおかけしてありがとうございました。
ことが全て解消され、サービスの充実
に勤めることが出来ます。

アイセレモニー飯綱ホールの右に隣接

アイセレモニー本社 新築完成

至飯綱 東高原 スノーシェード 空堀岡田
長野・信濃線
飯綱町
第一スーパー飯綱店
飯綱病院
至長野市(北国街道) ガード 至長野市

「智の会」会員さまの利便性向上ノ
今までは相談室に來られて「ホー
ルの設備確認しておきたい」と言
われ、R18に出てホールへと。

今度は、「ハイ、この隣りです」。
本社事務所入口のすぐ左に「相談室」
がございます。本社に並んでその左
側に、アイセレモニー飯綱ホールが
続きます。受付ロビー・バリアフリ
ートイレ・式場・各控室・お斎場・
通夜室など、設備の全てがすぐにご
覧いただけます。

もしもの時、突然のことゆえ、何
かと心配です。「どの位かかるのか
しら」。どうぞご安心ください。ど
んなご相談、ご質問にもお答えでき
ます。事前お見積りも。そのため
「相談室」です。気軽に利用して
ください。

アイセレモニー智の会事務局
係/丸山哲一(のりかず)

アイセレモニー 智の会
会員の皆さまへ

●新所在地/飯綱町黒川二四一五
〒389-1206
●電話/〇二六二五三一三七七
(従来の通りです。変わりがありません)

本社新築によって「智の会事務局」
も本社内となり、所在地も移転し
変わりました。

「智の会会員登録」に記載されてお
ります所在地「飯綱町普光寺九六九
一」は「飯綱町黒川二四一五」に
変わりますが、会員としての権利は
何ら変わることがありませんので、
ご安心ください。そのまま大切に保
管しておいてください。(改めて再
発行することはありません)

飯綱町黒川二四一五

シリーズ名刹をたずねて

『和を以て貴しと為す』

曹洞宗

斑尾山 即心院

信濃町荒瀬原

この世では、人々が仲良くしていただくことが大切だと、即心院のご住職は「座右の銘」としてこの言葉をいつも身近に置いて戒めているという。「和」は、なごむ・なごやか・やわらかと、平和を象徴する。

「アイの四季だより」昨年秋季に掲載の飯綱東高原「おかげ茶屋」のテーマタイトル、「和み・癒し・やすらぎ」を指差して、「これだよ、これこれ」と、ご住職は感嘆。さらに、「おかげ茶屋」の御陰様からの引用にも感喜。すべては皆さまのお陰でと、この謙虚な心意気にもちなみに、感喜(かんぎ)とは仏の教えを聞き信仰を得て喜ぶこと。



雪深い雪山 斑尾山のふところに抱かれて……即心院



▲鐘楼 昭和26年 卯月 村の人たちの寄進に依って再創立

何年か前まではこの冬の雪の中でも子供たちの遊ぶ姿が見えたが、今は家の中に籠って見えない、と嘆く。「よく遊び、よく学ぶ」だよと。エッ、おっしゃん(和尚)と遊びが先かよ、「いや、はや」とテレくさそう。

村寺としての任務を大切にしている。「村のためなら労を惜しまない」と言い、また「村の人たちにはいろいろと助けられていて」と。「お務めは住職としての職業。普段は森信由だよ。ただのオッサンだよ」とい、はや、を連発して、みんなに親しまれているおっしゃん(和尚)です。

「今年、還暦だよ」おめでとうございます。やと大人の仲間入りですね。「いや、はや」と嬉しそう。二十一歳で徳度。平成元年に先代の跡を継ぎ、今年二十年目を迎える。本尊は薬師如来。

即心院第二十二世住職 森 信由
信濃町大字荒瀬原三九九
(下荒瀬原)
電話二五五一五七八



▲六地蔵 平成6年 村の人たちの寄進に依って創立

即心院 寺伝

今から約一、三〇〇年も前のころ、元明天皇の御時、和銅五年(奈良時代、西暦七二二年)※行基(ぎよき)がこの地を通り大樹の下で眠っていると、夢に神が告げて言った。いま斑尾から流れ出る川が濁っている。薬師如来を信仰すれば水が澄む。行基は薬師像を二体刻んで安置。すると水が澄み、広く田を開くことができ、真言宗の本能寺という寺を開いた。

このち源頼義が奥州からの帰る途中に費用を寄付し、伽藍を造営。その後、火災で衰退していたのを、荒瀬原万太郎が中興し、元和二年(江戸時代・一六一六)今から約四〇〇年前、芋川村の村上五兵衛が改修して寺号を「即心院」と改めた。

即心院 新墓地 完成!

「明るい、広い、分譲中」

ご先祖を大事に祀ることは、現代に生きる私たちの大切な使命です。即心院はこのたび今の墓地の東側に新しく五〇区画の墓地を造成し、完成させました。

地域の皆さまにお役に立つことを願って、ただいま先着優先でお譲り(永代供養)いたしております。詳しくはお問い合わせください。

人物伝 ※行基

行基(ぎよき) (六六八〜七四九)は、奈良時代の僧。俗性は高志氏。和泉国(今の明石・神戸あたり)大鳥郡の人。十五歳で出家。法相(ほつそ)の宗義を学び、早くから諸所を歴遊して自行化他(じぎょうけた)につくしてきた。徳をしたって集まってきた道俗の人たちを率いて池を築き、溝(うなで)を掘り、橋をわたり、樋(ひ)を通じ、堂を建造。

七四三年、聖武天皇発願の東大寺毘盧遮那(びるしゃな)仏造成のため、朝廷より請われて勅進の行に出る。七四五年、大僧正の位を授けられ、四〇〇人の得度者が行基の下で修行することとなり、七四九年、天皇、皇后、皇太子に菩薩戒を授け、大菩薩の号をたまる。

また、始めて日本全国を作ったと伝えられていることでも有名。

中国名言集 PART II

捲土重来(けんどちようらい) 一度敗れたり失敗した者が、再び勢いを盛り返して攻め返す。「捲土」とは、砂煙を巻き上げて勢いが激しいこと。

水清ければ魚棲まず (みずきよければうおすまず) 水があまりにも清く澄み切っていると、隠れる所がなく、餌も少ないので、かえって魚が棲みつかない。人もあまり厳格清潔すぎると、人が寄りつかず、孤立してしまう。

「だん談義」 今年(今年)よりちょっと寒いので

お部屋をあたためる暖房方式は、近年めざましい発達をとげて、ファンヒーターに始まってエアコンへと、「快適な暮らし」をフレーズに、努力を使わず指先ひとつでON・OFF。室内温度も自在。

☆ 物事には常に表と裏が同居している。この「快適」を検証すると、いわゆる経済優先型社会を構築。代償として、費用(お金)がかかって、公害の発生に及び、体を使わないから「ものぐさ太郎」となって、ひ弱な創造力もない人間となっていく。

☆ 原油の高騰で灯油の値段も上がり、家計を圧迫。も何のその。汗いっぱいかいて薪を割り、ボヤ(焚き木)を集めて火を点す。この「暖炉」が今ブームとなっている。近代化に逆らって中世ヨーロッパのロマンチックな風情が「おしゃれだワ」と。

☆ 日本文化の崩壊したものひとつに「暖炉」がある。薪を焚くところは暖炉と同じだが、日本は畳の文化であった(過去形)。



から、タタミと床を四角に切りとって灰を入れ、薪を燃して暖をとるばかりでなく鉄瓶を掛けて湯をも沸かし、鉄ナベを掛けて煮焼きもする一石三鳥の装置。

いろいろ暖をとるばかりでなく、火を囲んで人々が集まりメシも喰い、酒を酌み交し、話に花も咲く。家族との絆も深まり、近所との付き合いも深まる。そのうえ、燃え盛る薪を見つめていると活力と創造力が湧きあがる。

さらに付け加えたい。(くどいよ)ファンヒーター・エアコンは対流式暖房装置。吹き出す空気熱で空気を暖める。暖められた空気は上昇して天井付近が熱く、腰下床面は寒い。熱は温度差がある限り高温部から低温部への移動を阻止することができない。(熱伝導の法則)

つまり、「頭寒足熱」の逆をいく。空気が攪拌して室内はホコリが舞っている。

暖炉・床暖房・パネルヒーターは遠赤外線放射熱を放射し、空気を暖めないから健康的暖房装置と言われている。

「過ち」改めざる、これ過ち

「後生、畏る可し」 (こうせい、おそるべし) 後輩を侮つてはいけない。将来に無限の可能性を秘めている。孔子の

「後生」は「先生」の対語。自分より先に生まれて自分より優れているものが先生であり、自分より後に生まれたものが後生。

だが、その後生は未知数とはいえず、励めばその進歩は畏るべきものがある。「畏る」は、恐怖のおそれと違って、畏怖、畏敬。つまり好い意味で注目し尊敬すべきことをいう。「若僧のくせに」への戒め。